

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2017年6月4日（日）

主 題：「すべてを感謝しましょう！」

テキスト：1コロサイ人への手紙3章17節

はじめに

- ・たった一度しかない人生、私たちはどのように生きているのでしょうか？
生き方を知っている人は幸いです。しかし、多くの人々は人生の意味が分かりません。人生に不平、不満を持っています。もし、私たちがそのような生涯おくるならば、とても残念です。聖書は次のように勧めています。
- ・聖書：3:17 **あなたがたのすることは、ことばによると行ないによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。（コロサイ）**
- ・聖書は、⇒「感謝心」をもって生きる生活を教えています。
- ・では、感謝できない時もあるのに、なぜ「**神に感謝しなさい**」と聖書は教えるのでしょうか？
⇒そこには「**逆説的真理**」があります。
- ・イエスは愛弟子ペテロの汚れた足を洗われたとき、彼はその意味が全く分かりませんでした。イエスはその時、「後で分かるようになります」と言われました。確かに、彼はその後の人生で理解できるようになりました。
- ・生まれたままの性質を持つ者は、常に迷いと戦いの中におかれます。分からないこと、理解できないことが多々あります。しかし聖書は、おれでも次のように勧めています。
- 3:17 **あなたがたのすることは、ことばによると行ないによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。（コロサイ）**
- ・「**すべて主イエスの名によって**」とは、文字通り「すべて」ですから、感謝できない状況下でも感謝することです。しかし、それは簡単ではありません。聖書はあえてその難しいことを勧めています。⇒一体なぜでしょうか？その理由を上げてみましょう。 2点

大切なポイント

1. 神との出会いがある

- ・感謝心でなく、不平、不満を持ちつづけるならば、自分の心は貧しくなります。聖書の神は目に見えない霊なる方ですが、神を信頼することです。つまり状況（毎瞬間の時）は ⇒ 神が容認される状態であることです
(受け留める)
- ・神は、そこで何かの理由（計画）を持っておられます。
{例 話}
- ・ William & Gloria Gaither 夫妻が作った “The Lord is Now Alive”（日本名：「主は今、生きておられる」）という名曲があります。日本の教会でも賛美されますから、ご存じでしょうか。1960年代終り頃、ベトナム戦争の泥沼にあえぐアメリカでは、多くの人が失望し、未来に希望を持たず、麻薬におぼれていました。また社会では「神は死んだ」という思想が蔓延し、人々の心は虚無感に襲われていました。さらに、人種問題で社会は緊張し疲れていました。
- ・ そんな時、Gloria は3人目の子どもを妊娠しました。しかし、この3人目のすぐ上の子が生まれて僅か3か月という、決して理想的ではないタイミングで妊娠でした。それだけではなく、夫 William 自身もウイルス性感染症で苦しんでいました。
- ・ 教会でも善意で行ったことが、悪意にとられるような苦しみに中にありました。多くの人々が言いました。「こんな時に、生まれてくる子は可愛そうだ。」そんな中で生まれた子が、Benjamin でした。
- ・ 彼らは賛美し歌いました。人々は、時代に、社会に、希望を持たないと言い、人生にも希望を持たないと言います。しかし、イエスが生きているから、希望があります。イエスが生きておられるから、明日に向かうことができます。イエスが生きてられるから、恐れは取り去られ人生に生きる価値があるので
- ・ この歌「主は今、生きておられる」は、そのような時に作られました。失望と倦怠感に沈んでいた米国に希望を与へ、その年1970年の” Gospel of the Year” に選ばれたのでした。
- ・ 私たちも同じようではありませんか。多くの人が未来に希望を持たずに、迷いと戦いの中で生きているのが今の時代です。パワースポットとか、スピリチュアル・ムーブメントとかで、占い師や霊能力者が幅を利かせています。
- ・ それは人々の心に希望がないからです。未来を握る神を信じることができずにいるからです。また私たち自身の中にも、人間関係で傷を受け苦しみがあ
- ・ あります。しかし、そんな中にいる私たちに、近づいて下さるイエス・キリストがおられます。

- ・「わたしは生きている!」、**「わたしは死を破り、今も生きている!」**と言われれるイエス様がおられます。私たちはこのお方によって、生きるのです。苦しみや戦いに置かれ、意味が分からなくても、神であるイエス様に会うならば、生きる力を得ることができます。

2. 勝利を先取りする人生である

1) イエスの名によって感謝を

- ・聖書：「**主イエスの名によって感謝しなさい**」と薦めます、なぜ、「イエスの名」で感謝をするのでしょうか？
名前は存在を表しますが、⇒ それは「イエスの臨在」を現わします。イエスは世の初めからおられたお方。神の権威を持つお方です。イエスは公生涯で、その権威を明らかにされました。
- ・「イエスの名」には、力、権威、権力のすべてが秘められています。そのイエスは、神と人との中保者となりました。「イエスの名」によって祈るとは、天地創造の神との交わりの始まりです。
- ・イエスは天父神からの祝福を、どのように受けられでしょうか？
マタイ福音書 14章 14-21節を開きますと、イエスが男だけで5千人もの人々に、「5つのパンと2匹の魚」を通して、大きな祝福を与えられたストーリーが出てきます。
- ・14:19 **そしてイエスは、群衆に命じて草の上にすわらせ、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて、それらを祝福し、パンを裂いてそれを弟子たちに与えられたので、弟子たちは群衆に配った。**
マルコ福音書
- ・イエスは「5つのパンと2匹の魚」を手に取り、祝福（感謝をささげ）されました。天父神へのまったく信頼から、イエスは感謝をささげられました。それは私たちの良きお手本です。イエスはこう言われました。
14:13 **またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。**
ヨハネ福音書
- ・すべてのことを「イエスの名」によって感謝することは、私たちが祝福を受ける基本的姿勢です。ですから、私たちは「イエスの名」によって感謝しようではありませんか。

2) 聖書：「すべてにおいて感謝しなさい」

原文では「すべて」(all)が、二回でてきます。

{例 話} 私は、しばらく前に米国で次のような話を聞いた。

- ある婦人が子供とともに車で走行中、自動車事故にあった。子どもは無傷、しかし母親は重症となってしまった。彼女はそれ以来約20年以上も、病院生活が続いている。手、足、体、は全然動かさず、動かせるのはただ顔のみ。全治回復は不可能、絶望的と言われた。
- ところが不思議なことが・・・。
見舞い客が来ると、彼女は口にペンをくわえスケッチをする。短時間で、見事な絵を描き、それを見舞い客にプレゼントしている。見舞い客が逆に患者の婦人に感謝し、お礼を言っている。
- 彼女はこう言っている；「もし事故に合わなければ、私は感謝することを知らなかった。今、生かされていること。人を喜ばせることができること」 ⇒ すべて感謝！ 私は何をするにしても、感謝です。
- 神に感謝する生活は ⇒ 感謝される生活へ変わります（正しい人間関係）
この婦人は逆境のなかで、神に感謝する生活を発見しました！
私たちは、いかがでしょうか・・・？
- 感謝できない**私の弱さをカバーするのは、⇒ イエスの十字架です**
私たちは日々、どのような生活を過ごしているのでしょうか。「イエスの名」において、言葉と行いにおいて、感謝の心をもって歩んでいるのでしょうか。
- 勝利を先取りする人生 ⇒ それは神に感謝する生活から始まります。

ま と め

主 題：「すべてを感謝しなさい！」

3:17 **あなたがたのすることは、ことばによると行ないによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。（コロサイ）**

- 私たちの人生は、感謝心が少ないものです。辛いこと、悲しいこと、意味が分からないこと・・・。ある時は、勇気や希望を失ってしまいそうになることがあります。正しく悩める、迷いやすい者です。
- しかし聖書は、そのような者たちへ励ましを与えてくれています。
それはイエス・キリストが十字架にかかり、死から復活されたからです。勝利者であるからです。最大の勝利は死を破ることです。ですから、このイエスにあつて、あらゆる点で、感謝をささげるならば、勝利が与えられます。
- 感謝心があるところには、

1. 神（イエス）との幸いな「出会い」がある
2. 勝利を先取りする人生である

*God bless you!